



現場から（最近のニュースから）

根本の理由から



夏休みが終わり、新しい学期のスタートです。子どもたちの中には、学校に行きたくないと言い始める子もいるようです。自分も不登校になったり、引きこもりにもなったという人々から、「学校に行きたくなくても、だいじょうぶだ」というメッセージがメディアに出ています。その中には、「いま」しか見ることができない子どもたちに、いまだけではないし、世界は広いからと、遠く広く見ることを勧めている人々もおられます。

子どもだけではなく、人間関係に悩んでいる人々が多いです。そのような人々に、チャーチルが言ったことを紹介している記事がありました。

“You will never reach your destination if you stop and throw stones at every dog that barks.”

「犬にほえられる度に立ち止まって石を投げていたら、

いつまでたっても目的地にはたどり着かない」ウィンストン・チャーチル（イギリスの元首相）

この記事を書いたのは、翻訳家の鈴木隆矢さんですが、鈴木さんは「悔しさをバネにする」ことを実行して、結局壊れてしまったことを書いておられます。中学校1年で不登校・引きこもりになったそうです。そのとき、「引きこもりは社会復帰は難しい」という話を聞いて、悔しくて、見返してやろうと猛勉強したそうです。しかし、結果は「うつ」になってしまったということです。自分を追い込みすぎてペースを崩してしまったということです。「自分では世の中に対して怒りを向けていたつもりだったのが、実際はその怒りは自分自身に向いていたのだと」気づいたと書いておられます。そして、悔しさがバネになるのは、悔しさを集中力に変えるときだけだと気づいて、「怒りを持っても自分自身が傷つくだけ。自分の力になることは決してない。悔しいことがあればそれはすぐに集中力に転換する。頭は冷静に心は熱く。」と言われていています。（8月23日Yahooニュース<人間関係に悩んでいる人へ。チャーチルの名言「犬にほえられる度に石を…」英語&和訳（偉人の言葉）>より）

いちいち、いまのことに腹を立てたり、悔しく思っていたら、結局は自分が壊れてしまうから、「頭は冷静に」怒りや悔しさは、集中力に変えて、自分が目指すところを見て進んで行こうということでしょうか。

たしかに、いまのことに捕らわれることなく、いやなことも集中力に変えることができれば良いでしょう。しかし、そんなに簡単なことではないでしょう。また、目指すところも分からないことも多いでしょう。そのようにどうしようもなくなる理由があります。実は、怒りや悔しさが問題の原因ではないのです。なぜ怒りや悔しさが出て来るのでしょうか。鈴木さんの場合に悔しく思ったのは、不登校・引きこもりだったからでも、そう思わせることを聞いたからでもないのです。そうなるしかない、根本に問題があるのです。その根本の問題を解決せずにいたら、乗り越えられない問題が続きます。チャーチルが書いているように、犬を無視してなんとか目的地に着いたとしても、どうしようもない問題がやってきます。まったく自分の根本から造り変えてしまう必要があるのです。私たち自身ではそれをすることはできません。では、どうしたら良いのでしょうか。そのことについて、いっしょに見てみませんか。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になる、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってください。感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください